

リョービ・ミヤコシ

デジタル枚葉印刷機 - 毎時 8000 枚を実現 -

リョービ(株)(広島県府中市目崎町、浦上彰社長)と(株)ミヤコシ(千葉県習志野市津田沼、宮腰巖社長)はこのほど、B2判で毎時 8000 枚の印刷を実現した電子写真方式のデジタル枚葉印刷機を共同で開発。3月27日、東京都北区豊島のリョービ東京支社で行なわれた合同記者発表で明らかにした。

同機は5月3日(木)からドイツのデュッセルドルフで開催される drupa のミヤコシブースで披露する。

新機種には、ミヤコシの電子写真技術とリョービの高速用紙搬送技術を融合。1600×1600spi の解像度を再現しながら、最大で毎時 8000 枚という電子写真方式ではトップクラスの高生産性を実現。高品質・高速印刷・低ランニングコスト・大ロット向け等のオフセット印刷機が持つ優位性と、バリエブル印刷・短納期・小ロット向け等のデジタル印刷機の優位性を両立する「新しい価値を備えた印刷機」と位置づけている。

席上、新機種に関して宮腰社長は「B2判に対応することで、比較的電子化されにくいサイズの紙媒体にも応用可能。Drupaに出品する当社の次世代 IJP と共に念願であったミヤコシ初のデジタル枚葉印刷機を、今後ポートフォリオの核としていく」と説明。また浦上社長は「デジタル印刷機の高性能化が進む中、当社も同分野への参入の機会を窺ってきた。当社の培った高速用紙搬送機構の開発技術を生かすことでこれに貢献できる」と述べた。

カタログ、ポスター、パッケージ印刷といった用途を狙う。プロトタイプ機につきサイズや価格などは未定。13年中の上市を目指す。

問い合わせはリョービ営業統括課(☎03-3927-3300)、またはミヤコシ POD 営業部(☎047-493-3854)。

(2012年04月15日 ラベル新聞 掲載)